

平成 22 年度 一般会計当初予算説明資料

8款 土木費

3項 河川海岸費

日野総合事務所県土整備局(電話:0859-72-2058)

3目 砂防費(地方機関計上予算)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源打訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)【日野モデル】 オオサンショウウオ用魚道 の整備検討会	1,060	0	1,060				1,060	
トータルコスト	1,867千円(前年度 0千円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	魚道整備方針の検討会開催と資料作成、とりまとめ							
工程表の政策目標 (指標)	多様化する住民ニーズを公正に公共事業の計画に導入							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

オオサンショウウオの代表的な生息地である荒田川(江府町)において、繁殖のための流域内移動の阻害要因になっている落差工の対策について、学識者・地元の有識者等から成る検討会を開催し、整備等の方針を定める。



2 事業の内容

学識者及び地元有識者、自治体関係者等からなる対策の検討会を3回程度開催し、対策の方針を決定する。

- ・ 検討資料作成等委託料 1,000 千円
- ・ 検討会開催 60 千円



3 これまでの取り組み状況

- ・ 日野川の支川である江府町の荒田川は、その流域環境・水温等が国の特別天然記念物であるオオサンショウウオの生息に最も適した溪流の一つで、将来的には流域全体をオオサンショウウオの生息適地として県の天然記念物に指定することも教育委員会で検討されるほど評価が高い。
- ・ しかしながら、流域下流の荒田集落付近に設置されている高低差 2m 程度の落差工 2 基が、溪流を移動しながら餌を捕食し繁殖するオオサンショウウオの生息行動を大きく妨げている現状である。
- ・ 全国的にオオサンショウウオのための魚道は相当数整備されているものの、実際に有効利用されているところを確認できている例は非常に少なく、本来どのような形態・構造が適しているのかよく分からないのが実態である。

(現状)



(参考)

整備事例  
(他県の例)



オオサンショウウオの生息・繁殖活動

- ・ 自然河川の岩の隙間に生息
- ・ 水温は 10~21 度が最適、これより水温が高いと卵の孵化には悪影響
- ・ 水温が下がり始める夏の終わり頃が繁殖期で、卵は約 50 日で孵化
- ・ 捕食活動は主に夜間のため見かけることは非常にまれ
- ・ 国の特別天然記念物で、一般の人は触ることも禁止されているため、見つけた場合は町教育委員会に連絡